【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年2月4日(2025.2.4)

【公開番号】特開2024-125427(P2024-125427A)
【公開日】令和6年9月18日(2024.9.18)
【年通号数】公開公報(特許)2024-175
【出願番号】特願2024-107711(P2024-107711)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ 13/02(2006.01)
Ｂ６０Ｊ 5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ 13/02 Ｂ
Ｂ６０Ｊ 5/00 ５０１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月27日(2025.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ドアパネルと、
前記ドアパネルに取り付けられるドアトリムと、
前記ドアパネルと前記ドアトリムの間に配設されて、前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる衝撃吸収部材と、
前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる他部材と、
を備える車両用内装部品であって、
前記衝撃吸収部材には、車両前後方向に窪んだ第１凹部が形成されており、
前記他部材は、前記他部材を前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付ける他部材固定部を有し、
前記第１凹部は、車両前後方向から見たときに、前記他部材固定部と重なる位置に形成されていることを特徴とする車両用内装部品。
【請求項２】
前記衝撃吸収部材は、
前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる固定部が形成された底面と、
前記ドアパネル又は前記ドアトリムの他方に対向する対向面と、
前記対向面と前記底面の間において、前方に配置される前面と、後方に配置される後面と、上方に配置される上面と、下方に配置される下面と、
を有し、
前記対向面、前記前面及び前記底面は、コ字形断面を形成しており、
前記第１凹部の底部は、前記前面又は前記後面に対応することを特徴とする請求項１に記載の車両用内装部品。
【請求項３】
前記固定部は、車両前後方向において、前記第１凹部の前記底部よりも前側又は後側のいずれか一方にのみに設けられていることを特徴とする請求項２に記載の車両用内装部品。
【請求項４】
前記他部材固定部は、車両前後方向において、前記第１凹部の前記底部に対して前記固定

部が配置される側と反対側に配置されることを特徴とする請求項３に記載の車両用内装部品。
【請求項５】
前記衝撃吸収部材には、複数の補強リブが設けられており、
前記第１凹部の底部は、複数の前記補強リブの間に配置されていることを特徴とする請求項１に記載の車両用内装部品。
【請求項６】
前記衝撃吸収部材の前記底面は、前記対向面に向かう方向に窪んだ第２凹部を備え、
車両上下方向において、前記第１凹部の一部が前第２凹部と同じ高さ位置に配置されていることを特徴とする請求項２乃至４のいずれか一項に記載の車両用内装部品。
【請求項７】
前記衝撃吸収部材の前記対向面には、複数の補強リブが設けられていることを特徴とする請求項２乃至４のいずれか一項に記載の車両用内装部品。
【請求項８】
前記対向面に設けられた複数の前記補強リブは、前記対向面の上下方向及び前方を囲むように設けられていることを特徴とする請求項７に記載の車両用内装部品。
【請求項９】
前記対向面に設けられた複数の前記補強リブは、前方から後方に向かうにしたがって内側に近づくように傾斜していることを特徴とする請求項７又は８に記載の車両用内装部品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前記課題は、本発明の車両用内装部品によれば、ドアパネルと、前記ドアパネルに取り付けられるドアトリムと、前記ドアパネルと前記ドアトリムの間に配設されて、前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる衝撃吸収部材と、前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる他部材と、を備える車両用内装部品であって、前記衝撃吸収部材には、車両前後方向に窪んだ第１凹部が形成されており、前記他部材は、前記他部材を前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付ける他部材固定部を有し、前記第１凹部は、車両前後方向から見たときに、前記他部材固定部と重なる位置に形成されていることにより解決される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記のように構成された本発明の車両用内装部品では、車両用内装部品をコンパクトに配置することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、前記衝撃吸収部材は、前記ドアパネル又は前記ドアトリムの一方に取り付けられる固定部が形成された底面と、前記ドアパネル又は前記ドアトリムの他方に対向する対向面と、前記対向面と前記底面の間において、前方に配置される前面と、後方に配置される後

面と、上方に配置される上面と、下方に配置される下面と、を有し、前記対向面、前記前面及び前記底面は、コ字形断面を形成しており、前記第１凹部の底部は、前記前面又は前記後面に対応していると好ましい。
上記構成によれば、対向面、前面及び底面によってコ字形状の断面を形成するため、荷重を適切に受け止めて衝撃を吸収することが可能となる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、前記固定部は、車両前後方向において、前記第１凹部の前記底部よりも前側又は後側のいずれか一方にのみに設けられていると好ましい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、前記他部材固定部は、車両前後方向において、前記第１凹部の前記底部に対して前記固定部が配置される側と反対側に配置されると好ましい。
上記構成によれば、衝撃吸収部材の固定部と、他部材の他部材固定部との干渉を抑制できる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、前記衝撃吸収部材には、複数の補強リブが設けられており、前記第１凹部の底部は、複数の前記補強リブの間に配置されていると好ましい。
上記構成によれば、第１凹部により複数の補強リブが分断されて配置されるため、コンパクトな空間で必要十分な剛性を得ることが可能となる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、前記衝撃吸収部材の前記底面は、前記対向面に向かう方向に窪んだ第２凹部を備え、車両上下方向において、前記第１凹部の一部が前第２凹部と同じ高さ位置に配置されていると好ましい。
上記構成によれば、底面の第２凹部と、前面又は後面の第１凹部が、少なくとも一部が交差することになるため、固定面である底面と、前面又は後面の連結部の剛性が向上する。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】

また、前記衝撃吸収部材の前記対向面には、複数の補強リブが設けられていると好ましい。
上記構成によれば、対向面に補強リブが形成されていることで、衝撃を好適に受け止めることが可能となる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、前記対向面に設けられた複数の前記補強リブは、前記対向面の上下方向及び前方を囲むように設けられていると好ましい。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、前記対向面に設けられた複数の前記補強リブは、前方から後方に向かうにしたがって内側に近づくように傾斜していると好ましい。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】